

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課	所属長名	尾崎 隆	電 話	483-1151 内線2450
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3633		事務事業名称	電子計算組織管理運用事業						短縮コード	経常	3633	臨時	3634
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	情報管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市電子計算組織管理運営規程								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
・事務処理量の増大により自己電算処理の必要が生じた。 ・市政運営の効率化と市民への情報提供の迅速化の要求による。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	06	計画推進のために						
1．事務処理の電算化は、市政運営に不可欠な状況であり、個々の業務処理について、より細かい処理をするようになってきているため、今後も増加する傾向にある。 2．行政サービス(窓口サービス)の時間の延長や総合窓口（ワンストップサービス）が要請される中で、今後、その対応が必要になる。 3．パソコンサーバシステムを導入している課が増加しているため、「共通基盤システム」の構築による基幹システムの大型汎用コンピューターシステムの利用への切替（ダウンサイジング化）の検討が必要である。 。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
						中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
						小項目（施策）	01	効率的な行政運営の確立						
						細 項 目	04	電子自治体の推進						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成18年4月 ～ 平成19年3月			計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・電算業務処理依頼課 ・電子計算機による行政事務処理							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 1．各課より電算処理の依頼のあった業務処理および業務処理に伴う消耗品の調達および電子計算機本体並びに関連機器の維持管理をした。 2．パソコンサーバシステム導入課で住民記録情報等の電子計算機本体で管理している情報を必要とする課に対し、情報の配信とシステム間連携の維持管理をした。							
	※平成19年度に計画していること： 1．共通基盤システムを導入した場合に、電子計算組織管理運用事業のプロセスがどのように変わるのか、また、システム開発保守事業との連携による双方の事業効率、業務課のニーズにどう応えられるか検討。 2．その他は平成18年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	1．迅速な業務処理を行い、各業務処理依頼課に対して正確な結果を提供するとともに、市民への行政サービスの向上を図る。 2．電子計算機および関連機器に障害が発生しないよう管理するとともに、安全・安定性の高い運用をする。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	1 市民サービスの向上と新しい市民ニーズへの対応を図る。 2 急速進歩している情報処理技術を取り入れ効率的な行政の実現を図る。							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	業務処理依頼総件数	件	6, 613	7, 299	7, 948	8, 300	
	指標 2	業務処理予定総時間数	分	152, 836	173, 717	211, 900	221, 278	
	指標 3							
活動指標	指標 1	業務処理総件数	件	7, 319	7, 299	8, 267	8, 300	
	指標 2	業務処理総時間数	分	174, 490	173, 717	175, 845	176, 541	
	指標 3							
成果指標	指標 1	業務処理総件数/業処理依頼総件数	%	110. 7	100	104	100	
	指標 2	業務処理総時間数/業務処理総件数	分	23. 8	23. 8	21. 3	21. 3	
	指標 3	業務処理総件数のうち円滑に処理した件数の割合	%	100	100	100	100	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3633	事務事業名称	電子計算組織管理運用事業				所属名	情報管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			現在の汎用電子計算機システムの運用を、ブレードサーバー（高機能・大容量・小型化された複数台のサーバーが格納された汎用サーバー）を利用した共通基盤システムの導入により、各業務課のシステムをダウンサイジング化することで、現行の業務処理依頼に係る事業部分を縮小・廃止するのみならず、システム機器の効率的且つ有効的な利用が可能となる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			共通基盤システムの導入により、基幹システムの情報（住民記録、税情報等）連携の一元的なシステムルールを確立することが出来ることになり、これによりＩＴ調達ガイドラインの策定・運用がなされることで、システムのハード・ソフト・管理運用費用の削減が可能となる。 なお、システム導入後主要業務課の業務専用システム（パッケージシステム）の導入までの数年は、多額の経費が伴うが、中・長期的には経費の削減と成果の向上が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・オンライン処理は17時に終了するが、市民窓口を担当する各課の事情で延長して欲しいという要望がある。また、市民の要請により、業務処理依頼書の提出後に急遽処理の必要が生じる場合があるので、柔軟な対応が求められている。	

所属長コメント	基幹システムのダウンサイジング化を行うことが、今後の重要課題と考えられることから、推進に努める。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続	ブレードサーバーを利用した共通基盤システムの導入により経費の削減を図り、積極的に推進すべき。但し、一時的な経費の増加については検証が必要。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☐ 現状のまま継続	